

楽しい！雪遊び！

作成日: 2025.2.25
対象児: 4歳児 きく組
作成者: 進藤葵月

ねらい:冬ならではの自然に親しむ。



～振り返り～

段々気温が下がっていき雨から雪に変わっていきました。しかし、なかなか雪は積もりませんでした。雪が降るたびに子ども達は「今日は積もるかな？」と期待を膨らましていました。ある日の夜、大雪が降ってきました。気温もかなり低かったので次の日はたくさん雪が積もっていました。子ども達は、大興奮で保育者に「雪積もっているよ！」「雪だるま作ってきたよ。」と会話から雪が積もってワクワクしている様子が伝わり微笑ましく感じました。「じゃあ今日は早く外出よう！」と伝えると「やったー！」とおもちゃを早く片づける姿がありました。戸外遊びの時、「寒い寒い！」と手を擦っている姿が多く見られますが、この日だけは元気に雪のある場所へ走っていく姿がありました。雪だるまを作って「先生！雪だるま出来た！」と優しく持って見せてくれました。「かわいい」と伝えるととても嬉しそうな表情をして大切に雪だるまを持っていました。雪合戦をしている子どももいました。雪の握り方も強く握ったり、優しく握ったり、数を増やしたりと試行錯誤して楽しんでいました。なかには水の中に雪を入れて溶けていく様子を見守る子どももいました。初めての発見が多い子ども達にとっては、不思議なことで挑戦していくことで何か発見できることがあります。子どもが不思議に感じたことを試してみても気づきに繋がるような環境を作っていきたいです。(健康な心と体、自立心、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重)